

2023年3月期（第13期） 第1四半期決算説明資料

2022.7.25

テクノホライゾン株式会社
代表取締役社長 野村 拓伸



目次

1. 2023年3月期（第13期） 第1四半期決算概要
2. 2023年3月期（第13期） 通期業績予想
3. トピックス

1. 2023年3月期（第13期） 第1四半期決算概要

- 3 -

(1) 2023年3月期 損益サマリー

単位：百万円

前年度実績比
増収減益

増収要因：

- ・買収企業が寄与

減益要因：

- ・部品価格高騰による売上原価上昇
- ・営業活動強化を目的とした経費増
- ・連結範囲変更に伴う人員およびのれん償却費の増加

	2022年 3月期 第1四半期	2023年 3月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	5,826	7,827	+2,000	34.3%
営業利益	△ 346	△ 537	△ 190	—
経常利益	△ 314	△ 352	△ 38	—
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△ 398	△ 412	△ 14	—

- 4 -

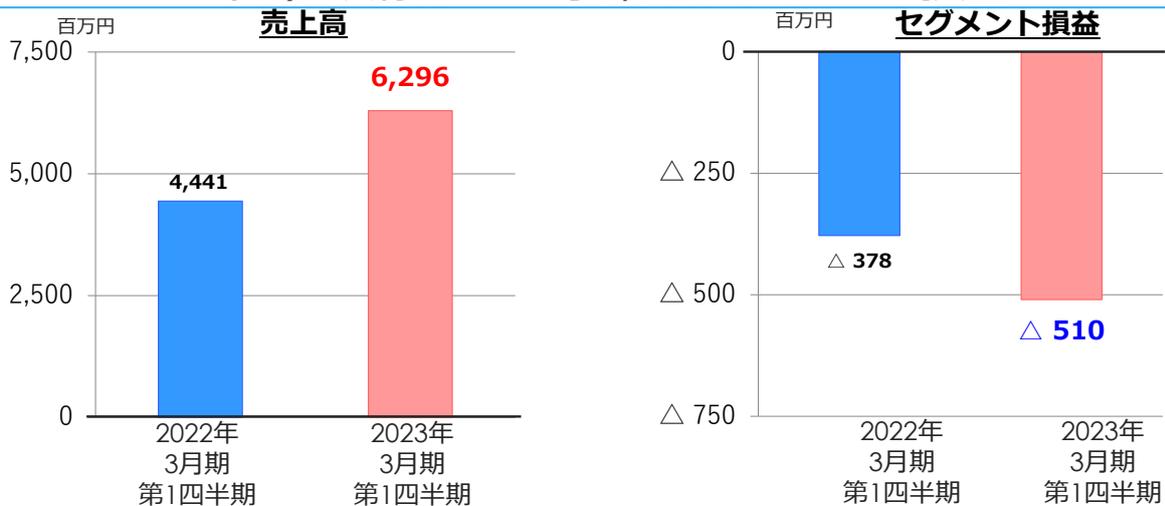
(2) 事業セグメント別売上高サマリー

単位：百万円

	2022年 3月期 第1四半期	2023年 3月期 第1四半期	増減	増減率
映像&IT	4,441	6,296	+1,855	41.8%
ロボティクス	1,385	1,530	+145	10.5%
売上合計	5,826	7,827	+2,000	34.3%

- 5 -

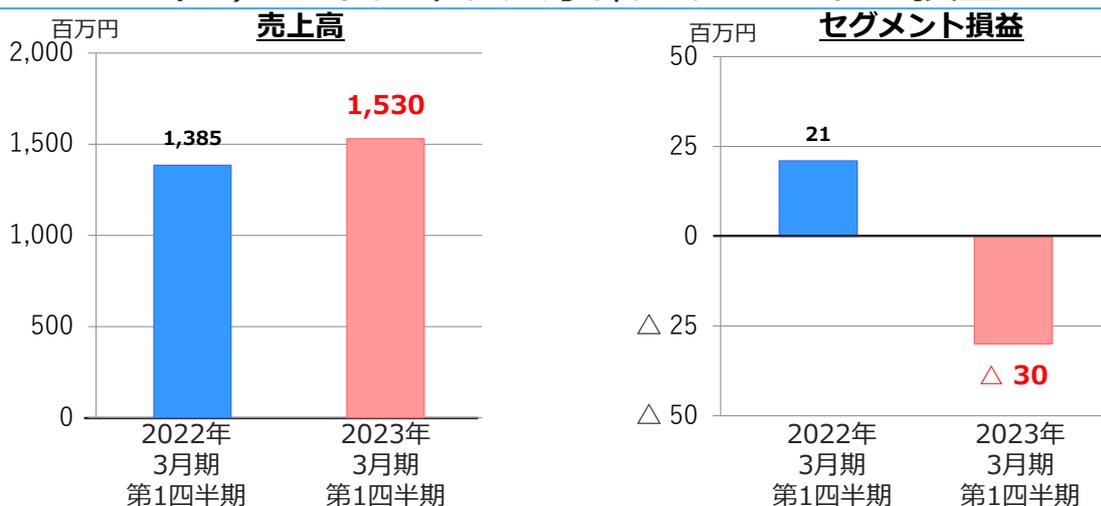
(3) 映像&IT事業セグメントの損益



- ・教育市場（電子黒板、書画カメラ等）：①国内 競争激化や季節性要因の影響、②海外 特にヨーロッパで景気の不透明感増
- ・車載事業：堅調な需要に対して半導体関連部品の調達難の影響による納品遅延が継続
- ・前期に買収しグループ入りした子会社が売上/利益に貢献
- ・部品価格高騰で売上原価上昇、営業活動経費増、連結範囲の変更による人員/のれん償却額増によりセグメント損失拡大

- 6 -

(4) ロボティクス事業セグメントの損益



- ・ FA事業関連機器：
 - ①国内 堅調な需要に対して半導体関連部品の調達難の影響による納品遅延が継続
 - ②中国 COVID-19による市場環境悪化の影響
- ・ 前期に買収しグループ入りした子会社が売上/利益に貢献
- ・ 部品価格高騰で売上原価上昇、連結範囲の変更による人員/のれん償却額増により収益圧迫

(5) 2023年3月期 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	2022年 3月期 第1四半期	2023年 3月期 第1四半期	増減
流動資産	20,934	21,294	+ 359
固定資産	10,846	10,775	△ 71
資産合計	31,781	32,069	+ 288
流動負債	16,546	17,763	+ 1,217
固定負債	5,499	5,009	△ 489
負債合計	22,045	22,773	+ 727
株主資本	9,000	8,310	△ 689
その他の包括利益合計額	734	985	+ 250
純資産合計	9,735	9,296	△ 439
負債純資産合計	31,781	32,069	+ 288
自己資本比率	30.6%	29.0%	△1.6pt

【流動資産】

- ・ 受取手形及び売掛金 : △2,080百万円
- ・ 電子記録債権 : + 393百万円
- ・ 在庫 : + 1,917百万円

【固定資産】

- ・ 無形固定資産 : △94百万円

【流動負債】

- ・ 短期借入金 : + 659百万円
- ・ 支払手形及び買掛金 : + 491百万円

【固定負債】

- ・ 長期借入金 : △493百万円

【純資産】

- ・ 為替換算調整勘定 : + 246百万円
- ・ 利益剰余金 : △689百万円

(6) 2023年3月期 連結損益計算書①

単位：百万円

科 目	2022年 3月期 第1四半期	2023年 3月期 第1四半期	増減
売上高	5,826	7,827	+2,000
映像&IT事業	4,441	6,296	+1,855
ロボティクス事業	1,385	1,530	+145
売上原価	4,149	6,110	+1,960
売上総利益	1,677	1,716	+39
販管費	2,023	2,254	+230
営業利益	△ 346	△ 537	△ 190
映像&IT事業	△ 378	△ 510	△ 131
ロボティクス事業	21	△ 30	△ 51
※調整額	10	3	△ 7

- 9 -

(6) 2023年3月期 連結損益計算書②

単位：百万円

科 目	2022年 3月期 第1四半期	2023年 3月期 第1四半期	増減
営業外収益	57	206	148
営業外費用	25	21	△ 3
経常利益	△ 314	△ 352	△ 38
特別利益	15	1	△ 14
特別損失	1	8	6
税金等調整前当期純利益	△ 299	△ 359	△ 59
法人税等	98	53	△ 44
親会社に株主に帰属する 当期純利益	△ 398	△ 412	△ 14

- 10 -

2. 2023年3月期（第13期）通期業績予想

- 11 -

（1）2023年3月期 損益サマリー

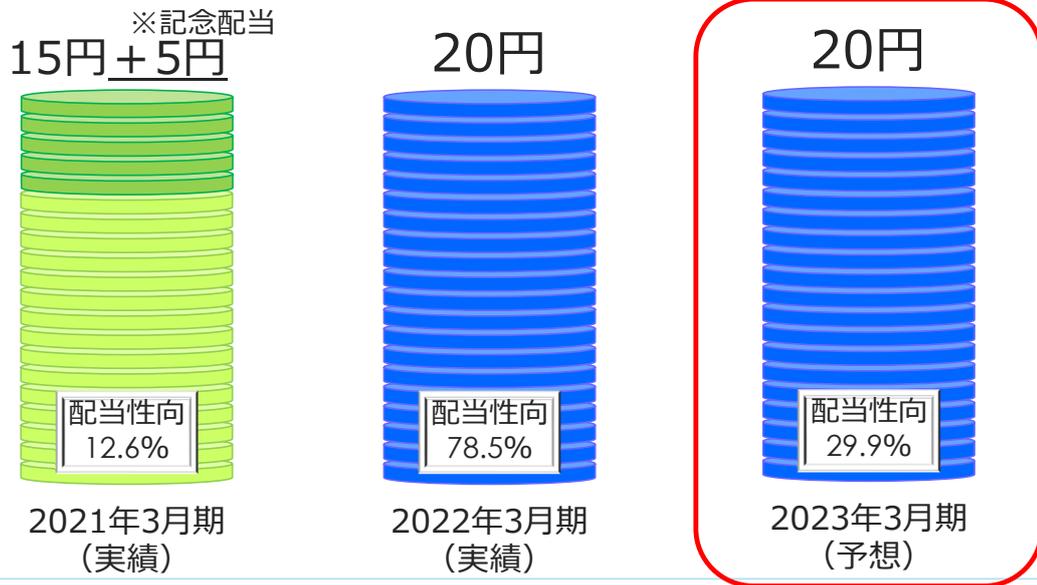
単位：百万円

	2022年 3月期 (実績)	2023年 3月期 (予想)	増減	増減率	前年度実績比 増収増益
売上高	34,521	40,000	+ 5,478	15.9%	増収要因： ・国内教育市場の持直し ・既存取材の展開強化による新規顧客の開拓 ・連結子会社化の効果
営業利益	749	1,500	+ 750	100.0%	
経常利益	955	1,300	+ 344	36.1%	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	431	900	+ 468	108.8%	

- 12 -

(2) 2023年3月期 株主還元

年間配当予想 : 年間 **1株あたり20円**



3. トピックス

(1) 「映像&IT」「ロボティクス」で切り開く未来

「映像&IT」と「ロボティクス」技術を基盤に、
7つの事業で4つの市場に新たな世界を切り拓く。



(2) 4つの市場：1Q各トピックス

教育

「xSync Board/ELMO Board」、「Elmo Cast」
バージョンアップ



安全
・
生活

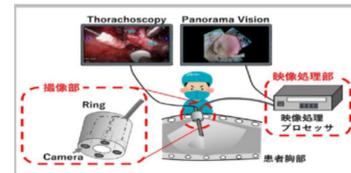
- ・ 外部イベント等への出展による認知浸透実践
- ・ iPhone 用カメラアプリ『Spielen』公開のご案内

Spielen
あなたの見た風景を
ガラス玉の中に
写しませんか？



医療

体腔内を可視化するシステムの開発
名古屋大学、愛知工業大学と共同研究締結



FA

自動はんだ付けロボットを国際展示会に出展
 ✓ Electrical Wire Processing Technology Expo 2022
 ✓ JPCA 2022 国際電子回路産業展
 ✓ InterPlas Thailand 2022



(3) 国内の展示会出展計画 (2023年度予定)

34の展示会等に出展予定

* コロナ対策を万全にしつつ、プライベート展示会も開催 *

テクノホライゾングループソリューションフェア2022

- 4月：in名古屋 (終了)
- 9月：in東京 (予定)



テクノホライゾングループ
ソリューションフェア2022 in 東京

2022年9月28日(水)・29日(木) 10:00～17:00 東京ドームシティ プリズムホール

「映像&IT×ロボティクス」で実現する、豊かな社会
～テクノホライゾンが創るスマートDX～



(4) 当社グループ入りした企業



アジア株式会社



RPA事業



ICT教育支援



キッティング
センター

✓ 2015年の創業以来、教育に特化した事業を展開。

✓ 政府主導の「GIGAスクール構想」参画により、徳島県を代表する企業として急成長達成。

✓ 現クライアントは90%以上が官公庁。



アジア
安心サポート



機器販売



学習塾運営

(5) 2023年3月期の業績に影響する主な不確定要素

① COVID-19の蔓延による受注減や業務の停滞

- ✓ ワクチン接種が進むも新規感染者が急増
- ✓ 第7波 他新たな流行の発生
- ✓ 人の移動 他制限による商機の減少

② 部品・商材の納期遅延、コスト上昇

- ✓ 昨年から続く世界的な半導体需要がひっ迫
- ✓ 関連する部品や商材の納期遅延の懸念
- ✓ 原材料他コストの大幅な上昇

③ 為替相場の不安定化

- ✓ 140円近い円/米ドル レートの不安定化

- 19 -

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

I R 担当窓口

- 役職： 取締役
- 氏名： 加藤 靖博
- 電話： 052-823-8551
- FAX： 052-823-8560
- E-mail： info@th-grp.jp

グループ社是

風に向かう

やすらぎを誘う木陰のさわやかな風
嵐が近づきサーフィンには持ってこいの大波
上昇気流に乗り優雅に舞う蝶
アゲンストにも果敢に攻めるショートホール

無難なんて言葉は無い
状況は刻々と変化している

平等に与えられたチャンス
授かった希望
未来へ羽ばたく風をつかめ

TECHNO HORIZON CO., LTD.

TECHNO HORIZON

テクノホライゾン株式会社

TIETECH

ELMO

Finefit Design

TECHNO HORIZON GROUP

ADS

Knowledge
Imaging
Technology **KIT**

ELMO K-GRANDE
CORPORATION

AIND
— AI - Wind —

ITL

BlueVision

ESCO
EXCELLENCE DELIVERED

fine 株式会社 **ファイン システム**

Pacific Tech

市川ソフトラボラトリー

APOLLO
APOLLO SEIKO

ASIA